

2. 教育部門報告 (2020年4月～2021年3月)

田中 信之
濱田 美和

国際機構では、富山大学に在籍する外国人留学生・外国人研究者のための日本語プログラムとして、日本語研修コース、日本語課外補講、総合日本語コース、これら3つを提供している。2020年度は、前期および後期に日本語課外補講と総合日本語コースを開講した。日本語研修コースは大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生の配置がなく、開講されなかった。また、ライデン大学短期日本語研修プログラムは新型コロナウイルス感染症拡大のため、ライデン大学からの学生派遣が中止となり、不開講となった。

2020年度の日本語プログラム全体の受講者数は、前期が49人、後期が37人であった。各日本語プログラムでは専任教員がコーディネーターを務め、受講登録や成績に関わる業務を行った。また、日本語プログラムの科目の大部分は複数プログラムの合同授業となっているため、初級、中級、上級クラス別の担当者（専任教員）を設け、クラス運営を行った。「授業記録システム」を活用して受講者の学習の進捗状況を把握できるようにしているが、キャンパス内への入構が制限されたことにより、利用が困難になった。現在のシステムはセキュリティの問題上、学内からの利用しかできないが、今回のような非常時も想定し、学外からも利用できるシステムを早急に準備する必要がある。学期末にはクラス別に授業アンケートを実施し、日本語プログラム講師ミーティングにおいてアンケート結果の共有することにより、授業改善を図った。日本語プログラム以外には、留学生の日本語学習を支援するためのサイト「日本語学習支援サイト RAICHO」の運営を行った。

以下、日本語課外補講、総合日本語コース、日本語プログラム授業アンケート、日本語学習支援サイト RAICHO の順に活動状況を報告する。